CATEYE STRADA DIGITAL WIRELESS

CYCLOCOMPUTER
CC-RD410DW

使用の前に必ず本書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。
ホームページ上で動画を交えた詳しい解説や取扱説明書をダウンロードできますのでご活用ください。

本器は出荷時に付属のセンサーと ID が照合されています。
ご使用にはセンサー ID 照合は必要ありません。

※ 本器は、オプションの心拍センサーを使用することで、走行速度、ケイデンス、心拍数の最大 3 つの信号を受信・表示することができます。

警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットに装着した状態で **MODE** を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を押してください。他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

2.4GHz デジタル無線について

各センサーは、無線 LAN などに使われる周波数 2.4GHz のデジタル通信技術を採用しています。これにより計測において外部ノイズや混信の影響を受けにくく、従来に比べ信頼性の高いデータを記録・保存することができますが、次のような場所や環境では干渉を受け、正しい計測が行えない場合があります。

※ 特にセンサー ID 照合中にはご注意ください。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや、自動車、鉄道車両内。
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地等。
- 他のコードレス機器や一部のライトと併用してご利用の場合。
- Wi-Fi 環境下。

スピードセンサー ID の自動認識について

スピードセンサーは ID を持っており、コンピュータはこの ID を照合して計測を行います。
コンピュータには、2 つのスピードセンサー ID を登録することができ、事前に登録すると自動で 2 つのスピードセンサーを識別することができます。
また、スピードセンサー ID にはタイヤ周長が設定されるため、従来機種で必須であった手動での周長切替えは必要なくなりました。

※ 画面には、センサーアイコン（1 、2）で認識中のスピードセンサーを表示します。

自動認識の流れ

コンピュータが節電画面へ移行し、その後計測画面に戻ったとき、以下の流れでスピードセンサー ID の自動認識が行なわれます。

❶ コンピュータは直前まで同期していたスピードセンサー ID の信号をサーチします。

❷ センサー信号を受信するとスピードセンサーのセンサーアイコンが点灯し、計測を開始します。
直前まで同期していたスピードセンサー ID の信号を受信できない場合は、もう一方のセンサー信号をサーチします。

❸ コンピュータがもう一方のセンサー信号を受信すると画面にもう一方のセンサーアイコンが点灯して、計測を開始します。
もう一方のスピードセンサー ID の信号も受信できない場合は、再び元のセンサー信号をサーチします。

通信障害など、何らかの理由で一度同期に失敗しても上記の流れで同期を繰返しますが、この場合は、認識に時間がかかります。

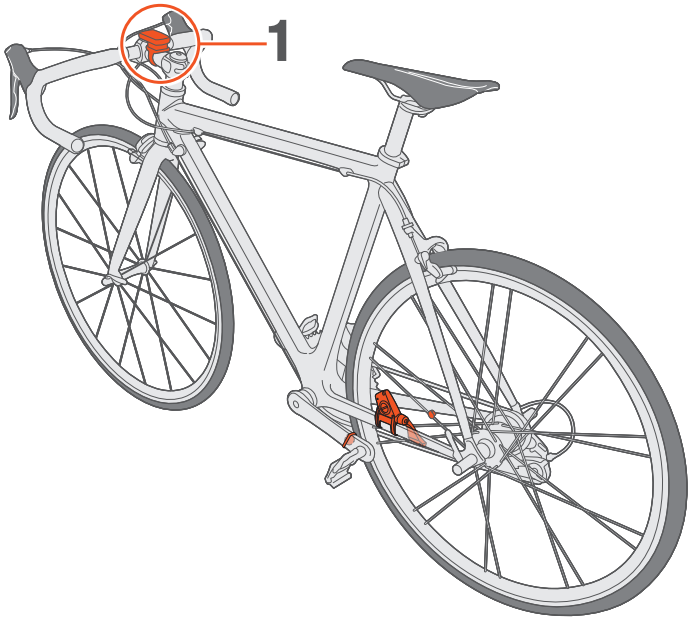
※ コンピュータは 10 分間センサーからの信号を受信できない場合、節電画面に変わり、さらに 1 時間経過するとスリープ状態になります。

手動での ID 切替

メニュー画面の「タイヤ設定」でスピードセンサー ID を手動で強制的に切替えることができます。次のような場合に活用してください。

- 登録した 2 つのスピードセンサーが近くにあり、双方からセンサー信号が発信中で任意のセンサー信号を認識させられないとき。
- 早急にスピードセンサー ID を切替えたいとき。

※ 手動でスピードセンサー ID の切替えを行った場合、計測画面に戻った時点で切替えたスピードセンサー ID のみをサーチし続けます。センサー信号を受信できない場合は、10 分後に節電画面に切替わります。その後、計測画面に戻ると自動認識の手順で、サーチを行ないます。

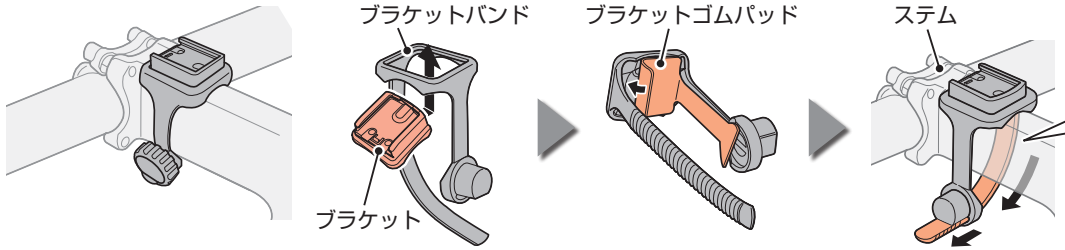


1 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます

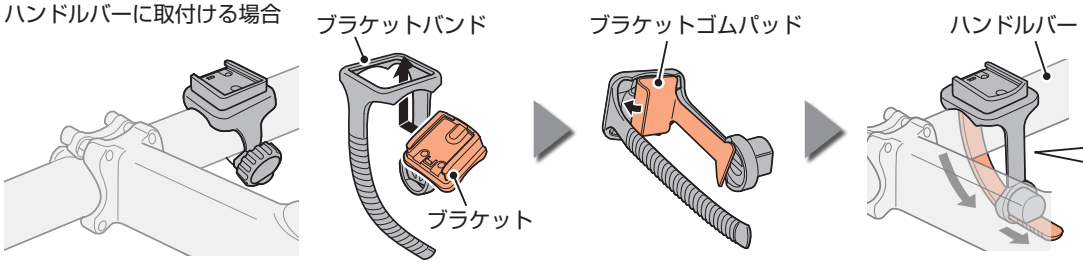
ブラケットはブラケットバンドへの組付けで、ステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

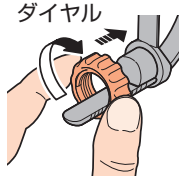
⚠注意 **ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。**
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

ステムに取付ける場合



ハンドルバーに取付ける場合

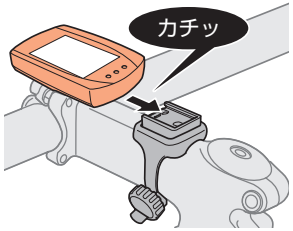


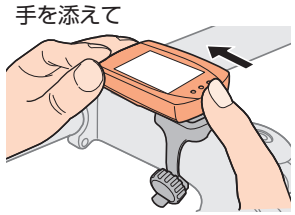


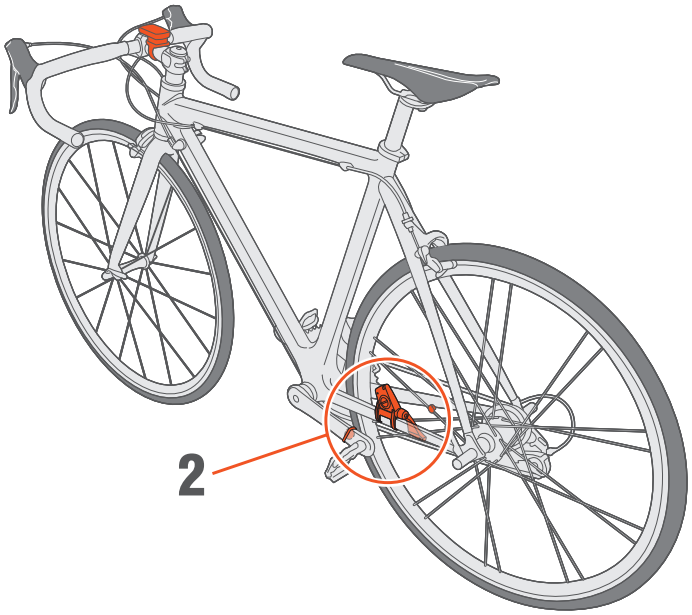
⚠注意
ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

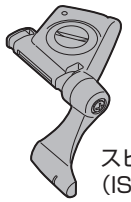
※ エアロ形状のハンドルバーや、より太いステムに装着したい場合は、オプションのナイロンタイブラケットをご利用ください。

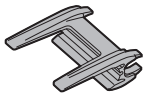
コンピュータの着脱

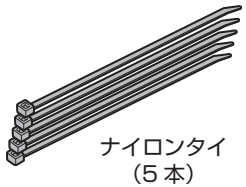







スピードセンサー
(ISC-10)

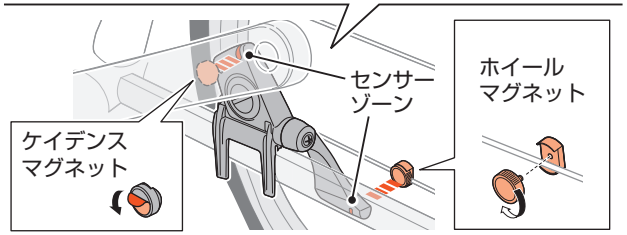

センサー
ゴムパッド


ナイロンタイ
(5 本)

ホイール
マグネット

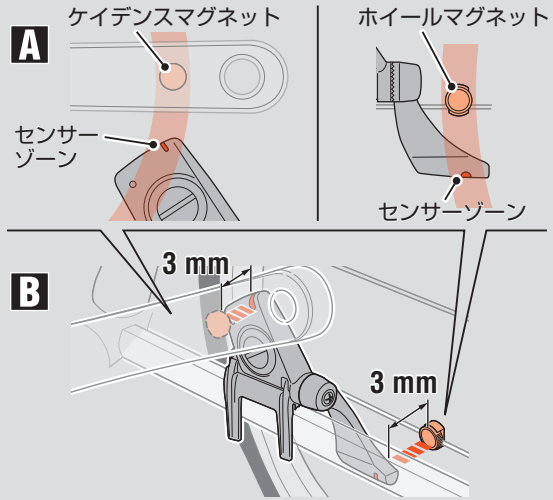
ケイデンス
マグネット

2 スピードセンサーとマグネットを取付けます

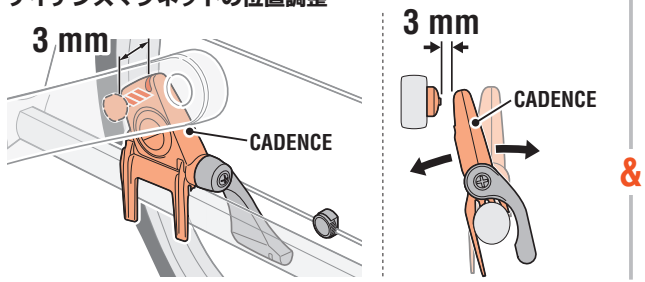


※ ホイールマグネットは取付条件を満たしていればスポーク上のどの位置にあっても問題ありません。

センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に取付けます。

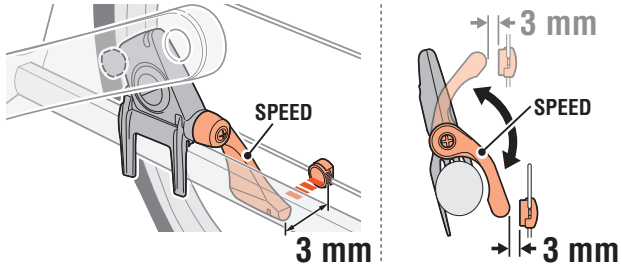


ケイデンスマグネットの位置調整

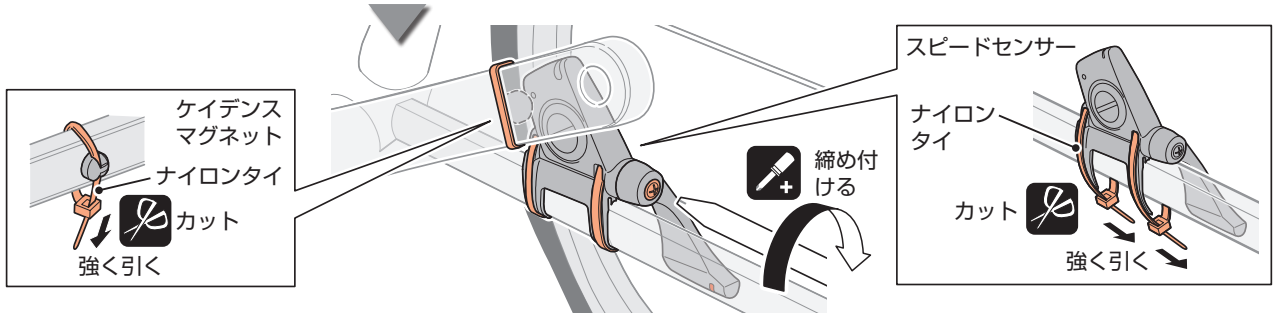


&

ホイールマグネットの位置調整



※ スピードセンサーが 2 つのマグネットとの位置関係（A B）を確保できない場合は、センサーを前後方向に動かし、調整します。

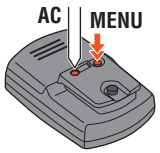


コンピュータの準備

はじめて使用するときや工場出荷時に戻す場合は、以下の手順でフォーマット操作を行います。

1 フォーマット（初期化）します

コンピュータ裏面の **MENU** ボタンを押しながら **AC** ボタンを押してください。



2 計測単位を選択します

「km/h」または「mph」を選択してください。

MODE **km/h ↔ mph**　　**確定** MENU

3 タイヤ周長を入力します

後輪タイヤ外周の長さを mm 単位で入力してください。

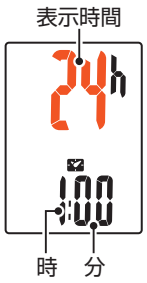
※ 目安として「タイヤ周長ガイド」をご活用ください。

MODE 数値増加　　桁移動（長押し） MODE　　確定 MENU

4 時刻を合わせます

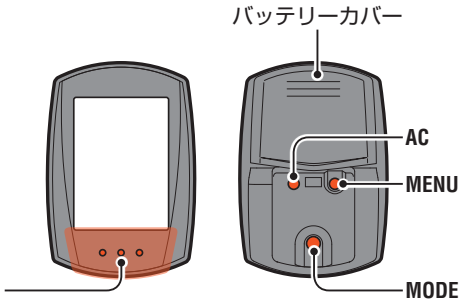
MODE を長押しするごとに「表示時間」→「時」→「分」の設定に切替ります。

MODE **12h ↔ 24h** または数値増加　　画面切替え または桁移動 MODE



5 MENU を押して設定を完了します

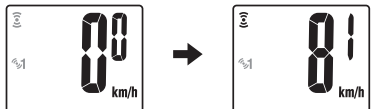
確定（設定完了） MENU



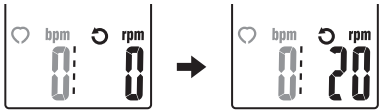
動作テスト

取付後、後輪を軽く回して速度が表示されること、クランクを回してケイデンスが表示されることを確認します。表示されないときは取付条件 **A** **B**（2 ページ）を再確認してください。

走行速度



ケイデンス



タイヤ周長について

タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

- **自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める**
  タイヤの空気圧を適正にし、体重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。

- **タイヤ周長ガイド**

※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4 (369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965
25-520	24x1(520)	1753
	24x3/4 Tubuler	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1(559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068

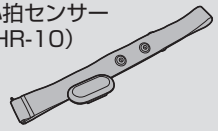
ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubuler 26x7/8	1920
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1(571)	1952
40-590	650x38A	2125
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1(630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	700x23C	2096
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubuler	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
60-622	29x2.3	2326

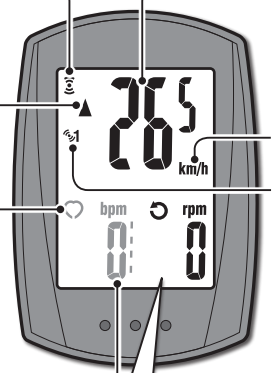
スピードセンサー信号アイコン
スピードセンサーの信号を受信して点滅します。

ペースアロー ▲▼
走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。

HR センサー信号アイコン
オプションの心拍センサーを装着すると信号受信時に点滅します。

オプション *1
心拍センサー
（HR-10）



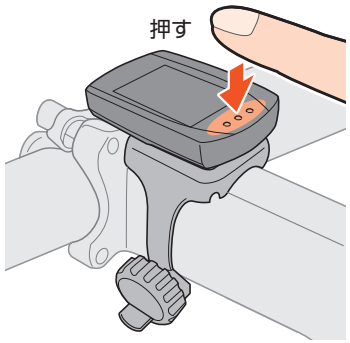


走行速度
0.0 (4.0) – 105.9 km/h
[0.0 (3.0) – 65.9 mph]
※ 画面下段に表示する場合は S が表示されます。

計測単位

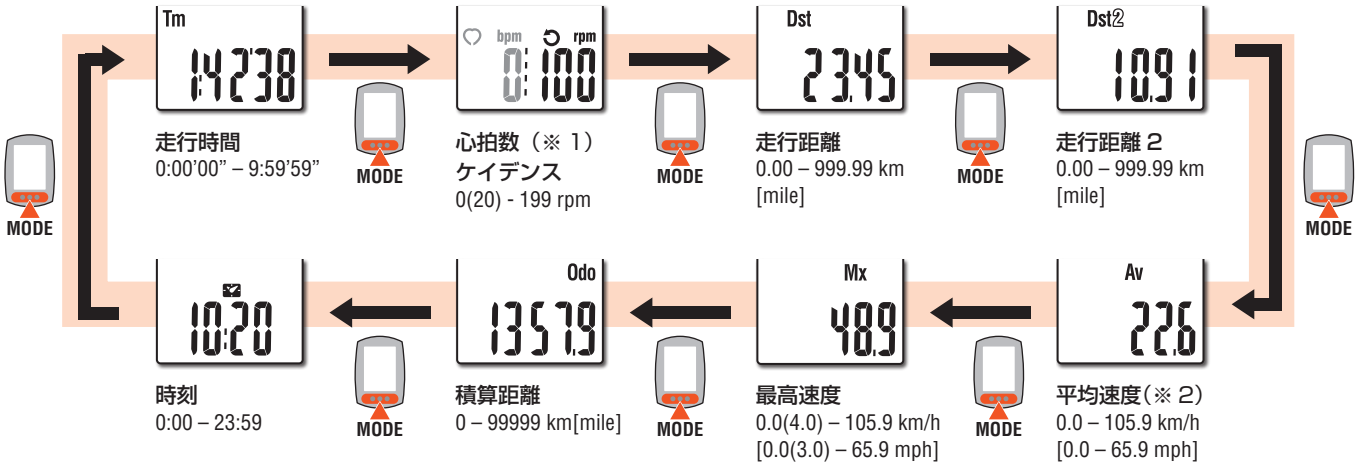
センサーアイコン
同期中のスピードセンサーを表示します。

ブラケット装着時の MODE 操作



選択データの切替

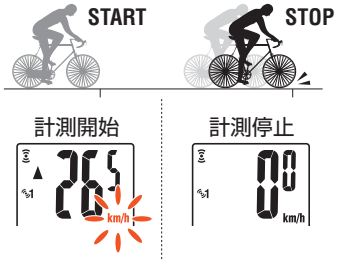
MODE を押すと下図の順に画面下段の計測データが切替ります。



*1 オプションの心拍センサーを使用すると画面左側に現在の心拍数を表示します。
*2 **Tm** 約 27 時間、または **Dst** 999.99 km を超えると **.E** が表示され計測できません。データのリセットを行ってください。

計測のスタート／ストップ

自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。
計測中は計測単位が点滅します。

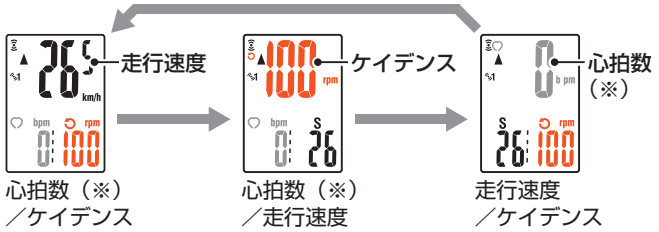


上段表示切替

ケイデンス（↻）、または心拍数（♡）を画面上段に切替え常時表示させることができます。

設定方法「コンピュータの設定変更：上段表示切替」（6 ページ）を参照してください。

※ 心拍数の計測には、オプションの心拍センサーが必要です。



データのリセット

計測画面で **MODE** を押し続けると、積算距離（**Odo**）、走行距離 2（**Dst2**）を除く、すべての計測データが 0 に戻ります。

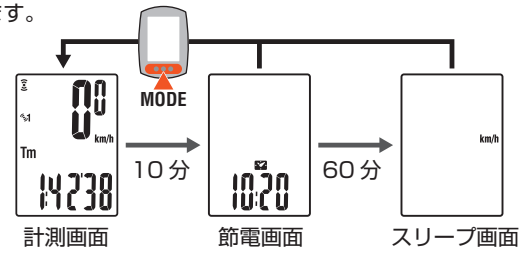
※ 積算距離（**Odo**）はリセットできません。

- **走行距離 2 の単独リセット**
  走行距離 2（**Dst2**）を表示して **MODE** を押し続けると、走行距離 2 だけが 0 に戻ります。

節電機能

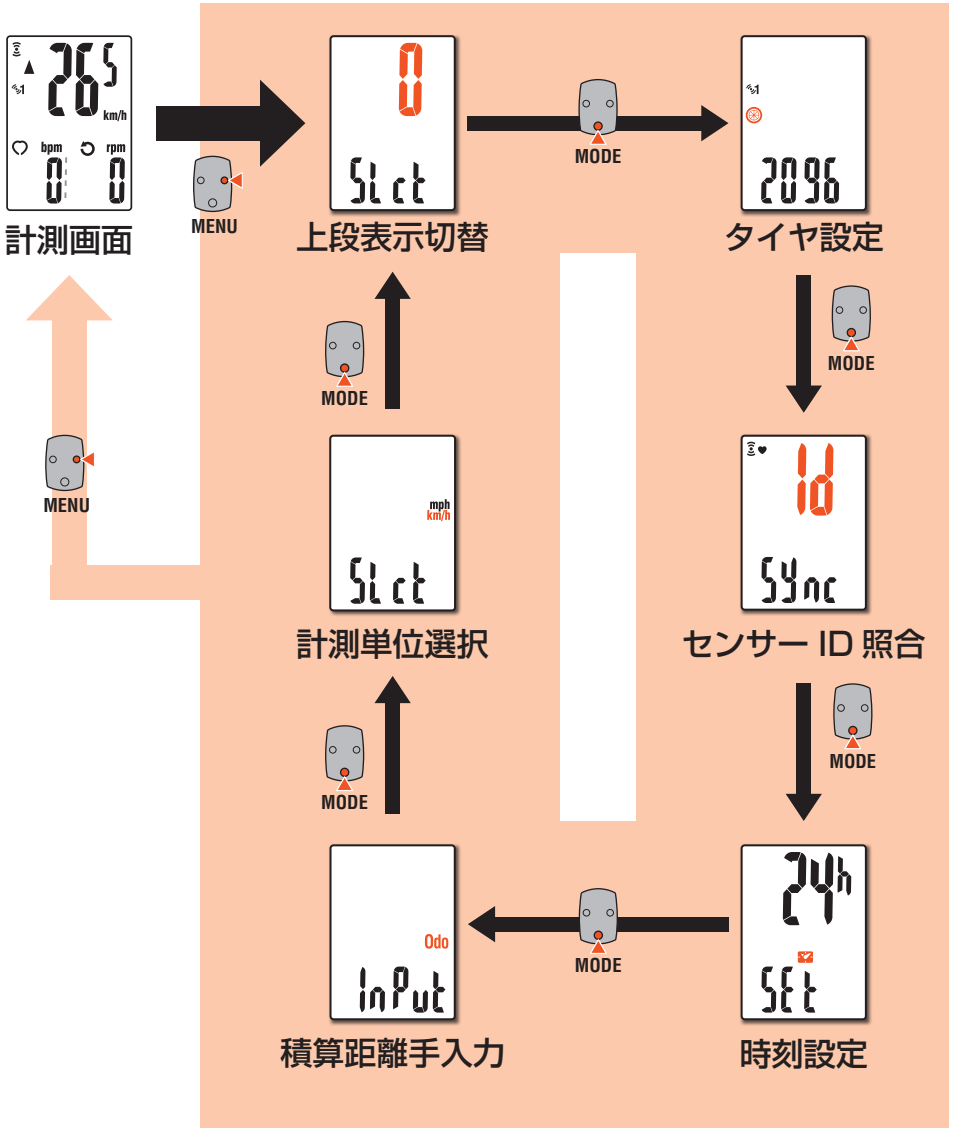
約 10 分間信号が入らないと時刻表示だけの節電画面になります。
この状態からは **MODE** を押すことで計測画面に戻ります。

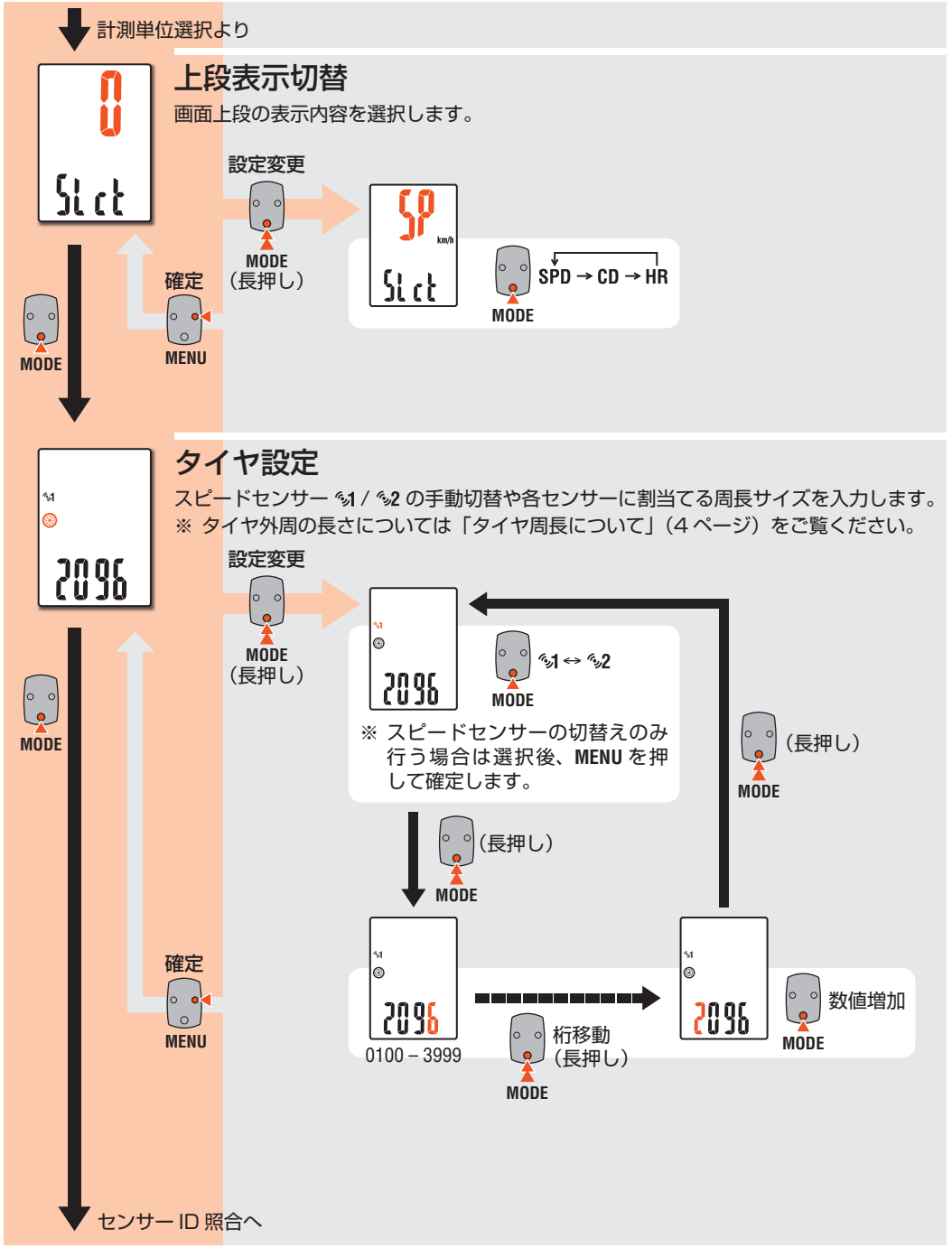
※ 節電画面からさらに 60 分間放置すると計測単位だけの表示になります。



コンピュータの設定変更［メニュー画面］

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に移行します。メニュー画面では、各種設定を変更することができます。
※ 設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。
※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。

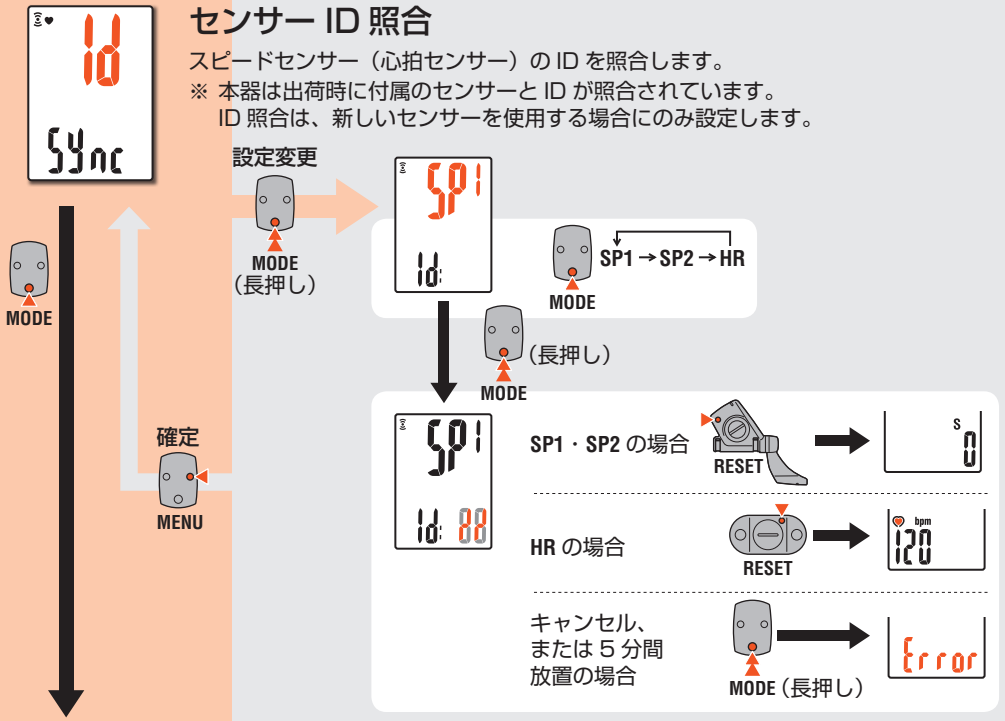




タイヤ設定より

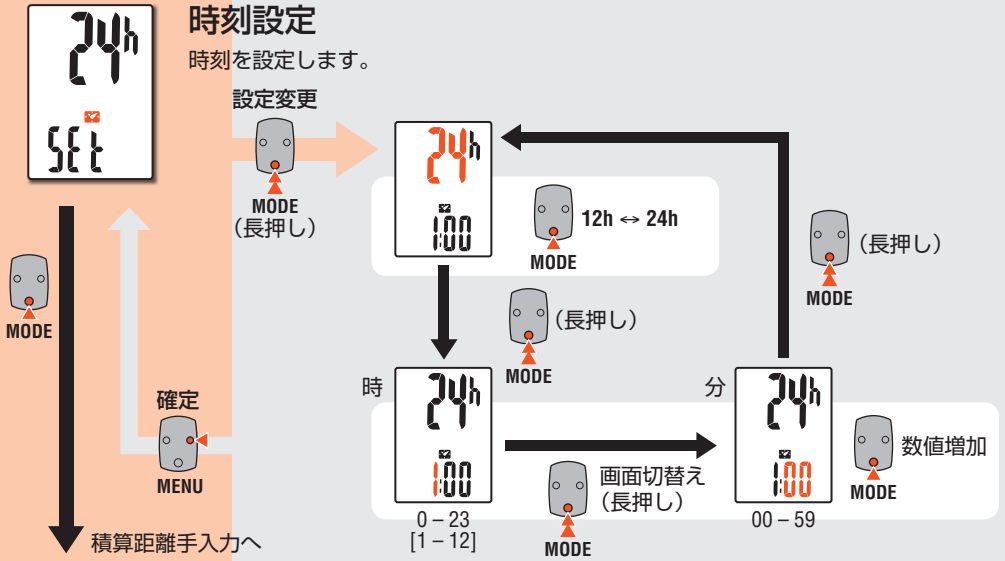
センサー ID 照合

スピードセンサー（心拍センサー）の ID を照合します。
※ 本器は出荷時に付属のセンサーと ID が照合されています。
ID 照合は、新しいセンサーを使用する場合にのみ設定します。



時刻設定

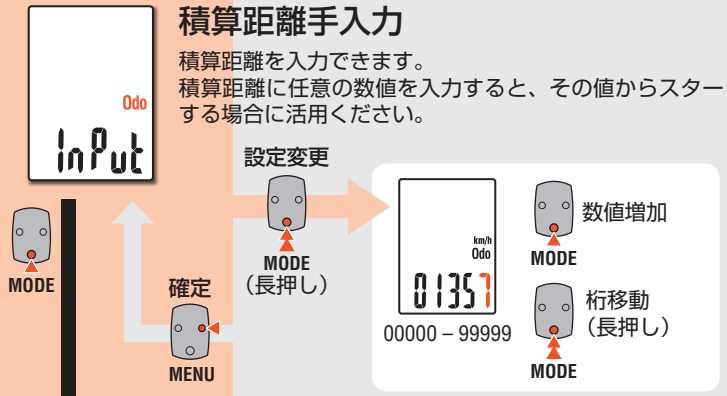
時刻を設定します。



時刻設定より

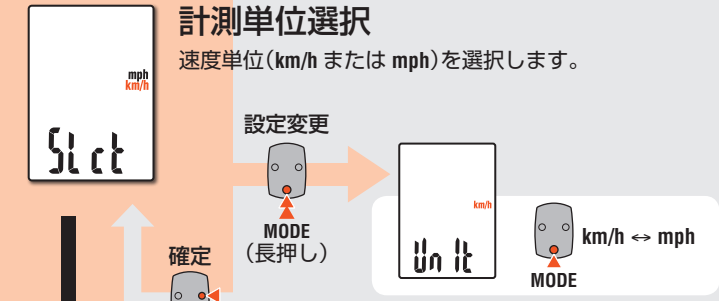
積算距離手入力

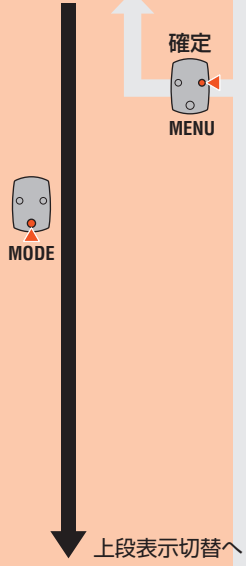
積算距離を入力できます。
積算距離に任意の数値を入力すると、その値からスタートできます。買換時や再設定する場合に活用ください。



計測単位選択

速度単位（km/h または mph）を選択します。





メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

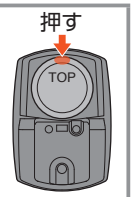
電池の交換

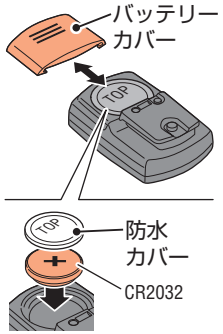
コンピュータ

1 リチウム電池を交換します

（バッテリーアイコン）が点灯すると電池の交換時期です。新しいリチウム電池（CR2032）を（＋）側が上面に見えるように挿入します。

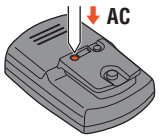
※ 防水カバーは、カバー上部のふちを押して取外します。取付けは、TOP側が上面に見えるようにかぶせてください。





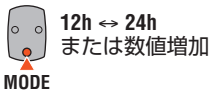
2 コンピュータ裏面の AC ボタンを押します（リスタート操作）

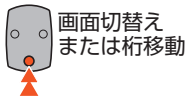
※ リスタートでは計測単位、センサーID、同期中のセンサー、タイヤ周長、上段表示設定、積算距離値が保持されます。

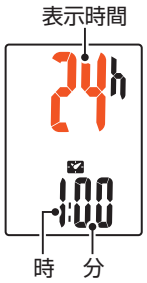


3 時刻を合わせます

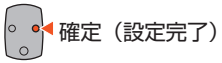
MODE を長押しするごとに「表示時間」→「時」→「分」の設定に切替ります。







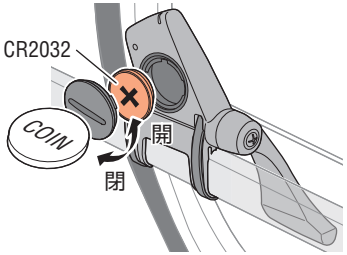
4 MENU を押して設定を完了します



スピードセンサー

※ 走行速度の数値が点滅する場合は電池の交換時期です。

新しいリチウム電池（CR2032）を（＋）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかり閉めます。



※ 交換後はマグネットとの位置関係を確認してください。

※ センサーの電池交換後は必ずセンサーの **RESET** ボタンを押してください。

トラブルシューティング

走行速度・ケイデンスが計測できない。

センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？（間隔 3 mm 以内）
マグネットはセンサーゾーンを通過していますか？

→ マグネット・センサーの位置を調節し直してください。

センサーの ID 照合は問題ありませんか？

→「コンピュータの設定変更・センサー ID 照合」（7 ページ）の手順に従ってセンサー ID 照合を行ってください。

コンピュータに電池寿命を知らせる表示が出ていませんか？

→「電池の交換」の手順に従って新しい電池に交換してください。

ボタンを押しても全く表示が出ない。

→「電池の交換」の手順に従ってコンピュータの電池を交換してください。

異常な表示が出る。

→「電池の交換・コンピュータ　手順 2 ～ 4」（4 ページ）に従ってリスタートしてください。

計測データの値がおかしい。（最高速度が速すぎる等）

電磁波等を発生するもの（鉄道線路、テレビ等の送信所、Wi-Fi 環境等）が近くにありませんか？

→ 原因と思われるものから離れてください。無意味なデータの場合は、リセット操作してください。

製品仕様

使用電池／電池寿命	コンピュータ（受信部）	リチウム電池 (CR2032) × 1 ／約 6 ヶ月 (1 日 1 時間使用時)
	スピードセンサー（送信部）	リチウム電池 (CR2032) × 1 ／約 1 年 (1 日 1 時間使用時)
※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。		
制御方式	1- chip マイクロコンピュータ（水晶発振器）	
表示方式	液晶表示	
検知方式	無接触磁気センサー	
センサー信号送受信方式	2.4 GHz ISM Band	
通信範囲	5 m（天候などの環境により延びる場合があります）	
タイヤ周長範囲	0100 mm ～ 3999 mm （初期値 :2096 mm）	
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃ （動作保証範囲 : 範囲外は表示の視認性が悪化します）	
寸法・重量	コンピュータ	46.5 x 31 x 16 mm / 20.3 g
	スピードセンサー	47.4 x 62.4 x 13.1 mm / 21 g

※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年間保証：コンピュータ／スピードセンサーのみ
（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

［宛先］
株式会社 キャットアイ カスタマーサービス
〒 546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL　: (06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX　: (06)6719-6033
E メール : support@cateye.co.jp

交換部品

標準部品

1603580

(ISC-10)
パーツキット

1603585

(ISC-10)
スピードセンサー

1600280N

ブラケットバンド

1602193

ブラケット

1699691N

ホイールマグネット

1699766

ケイデンスマグネット

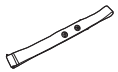
1665150

CR2032
リチウム電池

オプション部品

1603590

(HR-10)
心拍センサーキット

1603595

装着ベルト

1602980

ナイロンタイブラケット